

Pick up!

輝く男性の家事・子育て体験記

～ 11か月間の育児休業を取得してみた～

公務員 W・K

私は平成29年2月に第一子が誕生し、妻と3人で暮らしています。私は妻の出産に立ち会い、翌月の3月に育児短時間勤務を取得したのち、4月から子どもが1歳になる平成30年2月末まで、11か月間の育児休業を取得しました。



男性で約1年間に及ぶ育児休業を取得する人は珍しいと思いますが、私は結婚以前から「もし自分が結婚して子どもができれば必ず育児休業を取得して子どもと関わりたい」との思いを持っていました。

いざ育児が始まってみると、2人いても案外やることは多いものです。

まず、出産後は出生届の提出、出産育児一時金、扶養・児童手当及び育児休業給付金等の手続をしました。

また、毎日夜中も授乳や夜泣きで起きる妻は寝不足で、日中少しでも子守りを交代できるパートナーがいることは重要だと感じました。また、私か妻のどちらかに用事があるとき、子どもを見る人がいるのは安心です。

もちろんミルクやおむつ替え、沐浴、寝かしつけ、離乳食、そして洗濯や掃除などの家事についても、自分ができることは何でも主体的・意欲的に取り組みました。

その他、子どもの月齢や成長に伴い、必要な子ども用品の買い物、病院、予防接種や検診などにも積極的に行き、育児休業を取得していなければ知らなかったであろう世界を知ることができました。

さらに、お宮参り、お食い初め、誕生日、ひなまつりなど、イベントが盛りだくさんで、たくさんの記念日に立ち会い、大きな喜びを感じることができました。



妻と2人で子育てしてみて、一番良かったと思うことは、いつも2人で相談をし、最善の対応をしつつ、子育てそのものを共有できたことだと思います。初めての子育てを相談相手もなく1人で抱えてはしんどいですし、子育ては楽しいことが多い半面、想像以上に過酷なものでもあります。もし育児休業を取得していなければ、私は仕事のことで精一杯で、妻の大変さに気付けなかったり、家庭の状況が分からなかったりしたかもしれません。

私は、男性と女性が力を合わせ、尊重・協力し合っ
て、得手不得手を補い合いながら家事・育児に取り組
むことが大切だと考えています。私の場合には、育児
休業中の経験があるからこそ、現在仕事に復帰してか
ら毎日妻と子どもの様子について話がしやすいと思
っていますし、育児休業中に見聞きした経験を、今
度は仕事や後輩へのアドバイスとして生かしてい
くことができると考えています。

また、仕事に復帰してからは、なるべく時間内に仕
事を終え、早く帰って子どもと関わる時間を取るよ
う日々意識しています。そのため業務の効率も上がった
かもしれません。



約1年間という長きにわたり、本当に貴重な経験をさせていただいたことは、何物にも代えられない私の財産となりました。また、育児休業取得に関しての職場の協力にも大変感謝しています。これからも子どもの成長を楽しみにしつつ、仕事と家庭の両立を図っていきたいと思います。